

# 広報

# 九州



国民の森林・国有林

平成22年4月10日

(2010年)

No 1659

九州森林管理局

〒860-0081

熊本市京町本丁2-7

IP電話 050-3160-6600(代表)

http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/

平成22年  
合同植樹祭



森林は再生産可能な資源ですと挨拶する沖局長

## 200人が参加し開催 ヒノキコンテナ苗850本を植樹

3月6日、

「小さな芽、届け未来へ緑の力」をテーマに九州

本森林管理局・熊本森林管理署・

熊本県・玉名市・熊本市の共催による合同植樹祭が、玉名市天水町の熊野岳国有林内において、約200人が参加して開かれました。

今年は、森林や林業に触れることの少ない市民の皆さんに参加して頂き、森林の有する多面的機能、林業の果たす役割、木材を利用することの意義について理解や関心を深めていただくことを目的に行われました。

はじめに、沖修司局長が「ここには以前60年生のヒノキが立っていました。昨年伐採し、今回またヒノキを植えますが、60年後には立派なヒノキ林になります。森林は再生産可能な資源であり、国土保全や地球温暖化防止のためにも繰り返し利用していくことが大切です。本日の植樹祭を契機に、森林づくりに対して、皆さまの一層のご理解とご支援をいただきたい」とあいさつ。

続いて、熊本市立芳野小学校の5年生の児童12人がグリーンアピールを行い「森の木は不法

投棄を許しません。森林を理解して大切にしていきたい」と力強いメッセージが述べられました。

また、指導普及課山下技術開発主任官から、ヒノキコンテナ苗について、造林作業の省力化などに期待されていることや、植樹方法がこれまでより簡単であることなど実演をまじえた説明の後、参加者全員で850本のヒノキコンテナ苗の植樹を行いました。

なお、当日は朝から濃い霧のため、視界の悪い中での式典となりましたが、植樹に併せて待っていたように霧が晴れてすばらしい植樹祭となりました。参加者からは、植え付けが簡単だったと好評でした。(担当：指導普及課)



なかよくコンテナ苗を植樹する親子

# 自署の名山



元宮崎森林管理署都城支署

西小林森林事務所

首席森林官 木場 保

都城市街から望む霧島連山は、まるで一つの山のように見えますが、えびの市側から南東にかけて約30キの楕円形で20をこえる火山群からなっています。鹿児島県境にはほぼ位置しており、北西側に霧島一の標高1700mをほこる韓国岳があり、

## 月のクレイターを連想させる霧島連山

### 龍馬もおりようとハネムーンで訪れる

南東の高千穂峰を望むと、その周囲には15の火口と多くの火口湖が存在し、まるで月のクレイターを連想させ地球の息吹を感じます。

晴れた日にJR吉都線沿いに国道を小林市方面へ走ると、高崎あたりから高千穂峰を始め新燃岳や夷守岳、奥に韓国岳など雄大な霧島連山を実感できます。さらに高原町へ来るとぐっと間近に迫ってきます。神話では「霧にけむる海に浮かぶ島」が霧島の由来といわれ、雲海が雨となり多様な植物群からなる森林地帯を形成しています。森はやがて地下水を育み温泉源や霧島盆地などの農地を潤し大淀川水系へと注いでいます。

峻な赤茶けた溶岩くずの中を登り御鉢と呼ばれる噴火口縁へと行きます。登山道はなだらかな北側の火口縁(馬の背)にあり、一帯には溶岩の隙間等に這うようなミヤマキリシマの群落が広がり開花時期は感動的です。ここで、一休みし鞍部を越え一段と勾配の急なガレ場を足元を気にしながら山頂へと、高千穂河原から2時間程で到着します。山頂には天の逆錐が立つっており天孫降臨伝説の地と呼ばれています。山頂からは眼下にアカマツ林や霧島盆地が広がり、遠くは日向灘や錦江湾、眺望のきく日には屋久島等が望め、その雄大なパノラマはまさに絶景です。

霧島連山は全体が魅力的で、中でも秀峰と言われているのは高千穂峰1574mです。東に二子石、西に御鉢の寄山火山を従え中央には三角形の峰をつき出し存在感があります。通常の登山は鹿児島県側の高千穂河原から登り、故宮跡の裏から30分ほど森林帯の中を歩き、そこを抜けやがて低木帯へ、さらに急

1866年(慶長2年)にはこの逆錐を見ようと、幕末の志士、坂本龍馬は妻おりようとハネムーンでここから登山しています。霧島連山は南九州の温暖な地にあり年間を通じ多くの人々が訪れています。足に自信のある方は龍馬が歩いたかもしれない道に思いをはせながらトレッキングや森林浴などを兼ねて訪れて見ては、しかし、近年事故も発生しており、無理のない安全なコースを行うことをおすすめします。



上：霧島一の標高を誇る雪化粧の韓国岳

下：「霧にけむる海に浮かぶ島」霧島の雲海(奥は高千穂峰)

## 130人海岸林へ植樹



抵抗性マツを植樹する参加者=宮崎北部

【宮崎北部森林管理署】延岡市の浜山国有林において、植樹祭を行いました。当日は、延岡中央ロータリークラブ会員や緑の少年団、地区住民、一般参加者など約130人が参加。海岸林2個所に抵抗性クロマツやヤマモモ、ヤブツバキなど400本の苗木を植えました。小春日和の中で、参加者らは「早く大きくなれ!」という思いで、一生懸命、苗木を植えています。植樹を終えた参加者は、海岸林内のゴミ拾いに汗を流した後、松枯れの話や紙芝居「森林からのおくりもの」に耳を傾け、森林の大切さにふれた1日となりました。



実験やクイズに夢中に取り組む児童＝佐賀

## クイズで学ぶ森林の働き

【佐賀森林管理署】東唐津小  
学校の全校生徒77人を対象にク

イズや実験を取り入れた森林教室を行いました。最初にパワーポイントを使い世界や日本の森林の広さや森林の働きを学びました。その後、小学校のグラウンドの土、虹の松原の土、森林の土の入ったそれぞれのペットボトルに赤インクの入った水を注ぎ、どれくらい水を吸収するかの実験を行いました。児童らは体を乗り出し興味深く観察し、森林の水を貯える働きを実感しました。最後に木の名前当てクイズを実施。「こんな名前の木、本当にあるの？」と驚いたり、笑ったりと楽しく学べた森林教室となりました。

## 3分校の児童ら植樹を体験

【大分西部森林管理署】大分

県宇佐市安心院町の中州国有林において、宇佐市立深見小学校福貴野分校、同南部小学校羽馬礼分校、玖珠町立日出生小学校小野原分校の児童12人が、祖母と一緒にヤマザクラやカエデの植樹を行いました。また、防鹿ネットの設置や手作り看板の作成に取り組みました。児童らは始めは慣れない様子でしたが、看板作成では、植えた樹木に対する思いを全員が言葉や絵で表現しカラフルな大作を完成させました。今後は、春の桜、秋の



作成した看板前で満足げな児童＝大分西部

紅葉を楽しみに下刈などの手入れを行うことになっています。

## 森林活性化に向け調印式

【長崎森林管理署】対馬市役

所において、当署と長崎県対馬振興局、対馬市、対馬林業公社、対馬森林組合の5者の関係者約30人が出席する中、対馬流域森林整備推進協定書の調印式が行われました。九州森林管理局における協定締結は、昨年の五木地域に次いで2例目で、離島においては全国で初めての協定となります。対象地は、約2万7千杉と全国最大規模となり協定期間の5年間で効率的な作業路網の整備や合同積載による海上輸送など、民有林と国有林が連携し効率的な間伐などを推進することとしており、今後、対馬流域の森林・林業の活性化が期待されます。

# 佐多の小さな学校より

本校は、鹿児島県大隅半島の南端に位置し、太平洋に面した海岸線には山が迫っています。気候は温暖で無霜地帯です。児童数は13人という小規模・複式の学校です。周りを山に囲まれた自然豊かな環境にある学校ですが、この自然も台風や大雨によって、時として



鹿児島南大隅町立  
竹之浦小学校 校長  
種子島 潔さん

とても不便な思いをし、森林整備および治山事業の重要性を強く感じました。本校は、約8百アールの学校林を持っていますが、その大部分が山の斜面にあるため、ほとんど活用できて

いません。また、子どもたちの安全面を考えると、どうしても活用が消極的になってしまっているのが現状です。

先日、大隅森林管理署から

声がかかり、「郡下岳治山事業記念植樹」を行う機会を得ました。保安林や治山事業、森林整備などについての話を聞いた後、桜・楓・ケヤキなど約40本の苗木を植えました。学校では、いつも緑化活動で土に親しんでいるのですが、苗木を植える機会は滅多にないので、子どもたちにとっては貴重な体験でした。

森林の役割を理解することにも「自分のできることは何か」を考え行動できる人間作りは私たちの役割だと再認識しました。



崩れ、生活道路をふさぎます。3年前の集中豪雨では国道269号線は数カ所の崖崩れで、道路が寸断されて南大隅町佐多地区は、数日間にわたり、

崩れ、生活道路をふさぎます。3年前の集中豪雨では国道269号線は数カ所の崖崩れで、道路が寸断されて南大隅町佐多地区は、数日間にわたり、

崩れ、生活道路をふさぎます。3年前の集中豪雨では国道269号線は数カ所の崖崩れで、道路が寸断されて南大隅町佐多地区は、数日間にわたり、



調印を終え心新たに＝長崎

# 優良工事を施工した10社と 技術者など4人を表彰

平成21年度治山・林道工事コンクールの表彰式を4月8日九州森林管理局で行いました。

今回のコンクールでは、局で推薦した2社が林道部門で農林水産大臣賞に、治山部門で林野庁長官賞に選出され2月9日に林野庁で表彰されました。

また、それ以外の工事で、自主的な施工管理に積極的に取り組み、品質管理、安全管理、林地保全などに配慮した優良な工事を施工した治山工事5社、林道工事3社に対して局長表彰したものです。



表彰状を手に喜びの皆さん＝九州森林管理局

なお、今年度から新たに工事担当者などの意欲の高揚に資する観点から、農林水産大臣賞および林野庁長官賞を受賞した工事の担当技術者ならびに監督職員に対しても局長表彰を行いました。

受賞者は次のとおりです。

- 農林水産大臣賞
- 折渡林道21支線新設工事  
《熊本南部署発注》  
昭和建设 株式会社  
代表取締役 福元秀逸
- 林野庁長官賞

- 佐渡ノ元1治山工事（関連災1工区）《都城支署発注》  
株式会社財部組  
代表取締役 川畑弘志
- 九州森林管理局長賞

## 【工事の部】

- 佐渡ノ元1治山工事（関連災2工区）《都城支署発注》  
永野建設株式会社  
代表取締役 永野征四郎
- 木戸ノ元治山工事（関連災2工区）《宮崎北部署発注》  
木田建設株式会社  
代表取締役 木田壮一郎
- 木戸ノ元治山工事（関連災3工区）《宮崎北部署発注》  
合資会社七組  
代表社員 岩本健司

- 桜島地区治山工事（松浦川第2支流上流）《鹿児島署発注》  
右田建設株式会社  
代表取締役 右田哲也
- 新床2治山工事 《鹿児島署発注》  
吉村工業株式会社  
代表取締役 吉村三男
- 七熊林道新設工事《宮崎署発注》  
株式会社社長友組  
代表取締役 長友正勝
- 権現ヶ尾林道新設工事  
《鹿児島署発注》  
小牧建設株式会社  
代表取締役 小牧隆
- 平野林道21支線新設工事  
《大隅署発注》

- 株式会社桑原組  
代表取締役 桑原克幸
- 【技術者等の部】  
農林水産大臣賞受賞工事「折渡林道21支線新設工事」  
主任技術者 高沢英孝（昭和建設株式会社）  
監督職員 農林水産技官 柿本一宏
- 《熊本南部署》  
林野庁長官賞受賞工事佐渡ノ元1治山工事（関連災1工区）  
主任技術者 山波文和（株式会社財部組）  
監督職員 農林水産技官 間宮学
- 《都城支署（現宮崎署）》  
（担当）森林整備課



東 勝三 さん



私は会社を定年退職し、日田の高等技術専門校の造園科に1年間入学しました。山歩きが趣味で、山に登ったときの樹木

や草花、岩石などに興味があつたので造園の勉強と軽い気持ちでの入学です。  
1年間、別府～日田間をバスで通学していると、バスから見える外の景色がしだいに気になりはじめました。松は枯れ木が目立つし、杉山は手入れができていない。以前の山ではない、山や森林が荒れていると気になりました。

何か出来ることはないかと思つていたところ、国有林モニターの応募を知り、これだと思ひ応募いたしました。  
モニターになって、熊本での間伐モニター林や崩れにくい路網などの視察。宮崎でのクロマツの植樹祭。大分での間伐作業現場や治山工事施工個所の視察。島原での普賢岳治山工事施工個所視察。また、福岡での木になる紙の講演と、数多くのプロック会議などに参加させていただき、国有林や森林のことが段々理解できるようになりました。

特に森林の活性化という点で間伐材の取り組みに関心を持つようになりました。再生産可能な資源の循環利用による環境負荷の少ない木質製品の普及として間伐材チップを原料の一部として紙製品の利用拡大により間伐材の推進を図るとの方針であり、今後この製品を一般市民や企業に向けてどの様に普及させ製品の利用拡大にする事が重要だと思います。この運動を、モニターとして積極的に応援していきたいと思ひます。この事は、農山村の活性化につながり、九州における美しい森林づくりが進む取り組みであり、次世代に継承される森づくりにつながるものと思ひます。

（大分県別府市在住）

林業の再生に向け  
民・国の森林保有者間での情報交換等行う

3月16日、九州森林管理局において、九州地域の林業の再生に向けて民・国連携の取り組みを推進する観点から、国有林と民有林経営者などとの間での意見交換、情報の共有化を推進し、これらの方々とネットワークの構築を進めるため、初めてとなる「九州の森林保有者間での情報交換会」を開きました。

当日は、「九州地域における森林整備の推進に関する覚書」締結者6機関をはじめ、林業経営に意欲的に取り組んでいる森

における林業再生に向け民・国連携した取り組みの一層の展開が期待されます。

(担当：計画課)



情報交換会へ参加した民有林経営者の皆さん

## 「遊々の森」協定書に調印

【長崎森林管理署】当署とJA島原雲仙、雲仙市および事業実施主体であるNPO法人奥雲仙の自然を守る会は、関係者20人が参加し、雲仙市のふるさと会館で、遊々の森「奥雲仙牧場の森」協定の調印式を行いました。当箇所は、雲仙市国見町田代原地区の国有林内約10㍏で、長崎県内では初めての設定。今後は、事業実施主体であるNPO法人奥雲仙の自然を守る会と関係者が連携し、市内の小・中学生を中心に、自然観察や放牧牛とのふれあいなど設定地区の特色を生かした森林環境教育の実践に取り組んでいくこととしています。



間伐実施後の林内の状況＝屋久島

## 事業体にフィールド提供

【屋久島森林管理署】平成21年度は、屋久島町内の関係する林業事業体（2事業体）に対し、当署が積極的に取り組んでいるアクションプログラムにおいて、林業事業体が行う「緑の雇用担い手対策事業」の一環として新たに雇用した職員への研修などに、フィールドの提供を行いました。フィールドでは、間伐作業や崩れにくい作業路作設などに取り組まれました。申請した事業体からは感謝されました。当署においては、今後も担い手育成の一助となるよう、積極的な取り組みを続けることとしています。

## 森林GISコンクールを開催

## 具体的な活用事例5課題発表

3月15日に九州森林管理局において、「平成21年度九州森林

管理局森林GIS等活用事例コンクール」を開きました。今回

で3回目となる当コンクールは森林GISを使用した具体的な活用事例を募集し、①業務の効率化・迅速化が図られ、独創的で効果的な活用方法であるか②広く誰でも使用できるような汎用性があり、森林GISの普及に効果的であるかなどの観点から審査を行い優秀賞の技術部門に、大分署の齋藤絵理さん（官

行造林の管理に国有林GISとGPSを活用する取り組みについて）業務事務改善部門に西都児湯署の坂本法博さん（狩猟等に係る位置図の作成について）が選ばれました。

その他の発表課題は、次のとおりです。

- 希少野生動植物種保護事業等におけるGIS等の活用（沖縄署・田中優哉さん）
- GPSの機能を利用した事例について（屋久島署・藤川諒一さん、下田悠介さん）
- GISの（面積計測）の復命書への活用（宮崎北部署・丸橋勝寿さん）

(担当：企画調整室)



技術部門で表彰される齋藤さん



調印式に出席の関係者の皆さん＝長崎

# 人のうごき

4月1日付林野庁長官発令

佐賀森林管理署長

大倉孝行(林野庁国有林野部

職員・厚生課)

熊本南部森林管理署長

川畑宏二(林野庁林政部経営

課)

大分西部森林管理署長

森 勇二(近畿中国森林管理

局販売課)

大分森林管理署長

長江恭博(独)森林総合研

究所企画部研究管

理科)

宮崎森林管理署長

工藤 篤(熊本南部森林管理

署長)

林野庁管理課管理官(契約適正

化推進担当)

富田幸一(佐賀森林管理署

長)

東北局米代西部森林管理署長

栗林 晃(大分西部森林管理

署長)

関東局上越森林管理署長

志間俊弘(大分森林管理署長)

近畿中国局三重森林管理署長

笹岡哲也(宮崎森林管理署

長)

職員厚生課長

田中則一(経理課長)

経理課長

井 廣二(森林整備部企画官

(間伐推進担当)

治山課長

中村実敏(森林整備部治山技

術専門官)

林野庁管理課企画官(事業評価

担当)業務課併任

堂本 整(治山課長)

企画調整室監査官(経常)

野邊忠司(総務課)

企画調整室監査官(労務)

井上 誠(大分森林管理署次

長)

総務部専門官(契約適正化)

吉田祥一(企画部企画官(自

然再生担当)

総務部専門官(契約適正化)

森 保廣(企画調整室監査官

(経常)

企画部企画官(自然再生担当)

谷口文敬(独)森林総合研

究所林木育種セ)

夕一九州育種場連

絡調整課長)

企画部企画官(財産管理)(沖

縄署駐在)

宮武文典(大臣官房国際部国

際協力課海外技術

協力官)

森林整備部企画官(間伐推進担

当)

上村五十記(企画調整室監査

官(労務)

森林整備部治山技術専門官

井野常雄(指導普及課)

森林整備部専門官(災害調整)

出口健二(宮崎署次長)

宮崎森林管理署都城支署長

迫口 親(大隅署次長)

福岡署次長

佐伯敏光(販売課)

佐賀署次長

岡本政秀(国有林野管理課)

大分西部署次長

古閑博行(佐賀署次長)

大分署次長

鎌田敏雄(森林整備課)

西都児湯署次長

木林静夫(宮崎署都城支署)

宮崎署次長

園田克美(経理課)

宮崎南部署次長

楠本哲也(屋久島署)

大隅署次長

前杉成美(宮崎南部署)

近畿中国局企画官(販売戦略担

当)

川部静也(福岡署次長)

森林総合研究所

井手幹雄(総務部専門官)

4月1日付森林管理局長発令

九州局出向(指導普及課部付)

元村正彦(西都児湯署次長)

九州局出向(販売課部付)

九州局出向(販売課部付)

田口増男(宮崎署都城支署長)

総務課課長補佐

岩下隆徳(総務課)

経理課課長補佐

溝越啓二(経理課)

計画課課長補佐

峰内浩昭(佐賀署)

指導普及課課長補佐

下崎哲也(環境省)

森林整備課課長補佐

## 新規採用者紹介

夢を持って大きく羽ばたけ!

当局では4月1日付けで、  
Ⅱ種5人、Ⅲ種8人を採用。  
4月6日からの「新規採用者  
研修」に各署などから集合し、  
沖修司局長ら幹部を囲んで記  
念撮影を行いました。新生国  
有林に夢を持って大きく羽ば  
たいてください。配属先は次  
のとおりです。

Ⅱ種(林学)  
山中亮(企画調整室)  
岡田有帥(計画課)

Ⅲ種(林業)  
曾我部亮輔(指導普及課)  
水野由芽(森林整備課)  
日比野誠也(屋久島署)  
岩崎諭(福岡署)  
藤原洋太(長崎署)  
松井郁弥(大分署)  
鶴田千華(宮崎北部署)  
和田弥己(宮崎署)  
尾方祐貴(宮崎署都城支署)  
迫本翔太(宮崎南部署)  
橋本浩次郎(大隅署)



沖局長ら幹部をかこみ心新たに=局正門前

長瀨直（森林整備課）  
 販売課課長補佐  
 有蘭敏行（鹿兒島署）  
 森林技術センター副所長  
 山崎勇勝（屋久島署）  
 熊本南部署企画官（低コスト施業・供給対策）  
 高木周一（販売課）  
 宮崎署都城支署企画官（低コスト施業・供給対策）  
 永吉国視（企画調整室（都城支署））  
 大隅署企画官（低コスト施業・供給対策）  
 甲斐博文（大隅署）  
 指導普及課自然再生指導官  
 篠川伸一（計画課）  
 指導普及課自然再生指導官  
 坂梨豪俊（長崎署）  
 国有林野管理課鑑定官  
 荒木政明（環境省）  
 佐賀署流域管理調整官  
 下村康広（関東局）  
 大分署流域管理調整官  
 本田司（経理課）  
 西都児湯署流域管理調整官  
 出水広（宮崎南部署）  
 宮崎南部署流域管理調整官  
 草本健一（森林技術センター）  
 鹿兒島署流域管理調整官  
 久保田修（計画課）  
 屋久島署流域管理調整官  
 山部国広（大分署）  
 企画調整室企画調整係長

齋藤絵理（大分署）  
 企画調整室監査係長  
 木下栄治（環境省）  
 総務課人事係長  
 篠村和希（大分西部署）  
 職員厚生課企画係長  
 本田博邦（職員厚生課）  
 職員厚生課施設係長  
 本山和行（長崎署）  
 職員厚生課共済組合係長  
 山部直幸（長崎署）  
 職員厚生課給与係長  
 宮崎健次（職員厚生課）  
 職員厚生課安全衛生係長  
 深田隼人（宮崎署）  
 経理課企画係長  
 酒井昭則（経理課）  
 経理課収入係長  
 坂橋祐二（熊本南部署）  
 経理課支出係長  
 白石裕次（経理課）  
 経理課主計係長  
 福山拓也（経理課）  
 経理課経理係長  
 余瀬秀一（大分署）  
 経理課計理主任  
 白石光成（経理課）  
 計画課経営計画第三係長  
 松本輝生（宮崎北部署）  
 計画課経営計画第四係長  
 田中和利（国有林野管理課）  
 国有林野管理課計画処分係長  
 鹿田純吉（国有林野管理課）  
 森林整備課企画係長

内村圭一（販売課）  
 森林整備課造林係長  
 久保幸治（企画調整室）  
 販売課収獲係長  
 渡辺浩司（熊本南部署）  
 販売課販売係長  
 志賀栄一（販売課）  
 販売課生産係長  
 金津圭介（宮崎署）  
 治山課調査係長  
 山内正（鹿兒島署）  
 治山課保安林係長  
 高森好文（熊本南部署）  
 佐賀署総務課長  
 下田勝也（職員厚生課）  
 長崎署総務課長  
 佐藤敏郎（森林整備課）  
 宮崎北部署総務課長  
 中村昭一（経理課）  
 西都児湯署総務課長  
 中島良美（大隅署）  
 宮崎署都城支署総務課長  
 中村公治（宮崎署都城支署）  
 北薩署総務課長  
 和田誠二（佐賀署）  
 大隅署総務課長  
 原田太（宮崎北部署）  
 屋久島署総務課長  
 岩本清文（職員厚生課）  
 福岡署業務課長  
 鎌水隆憲（職員厚生課）  
 宮崎署業務課長  
 荒木逸郎（計画課）  
 宮崎署都城支署業務第一課長

下岩守（福岡署）  
 北薩署業務第一課長  
 宮本和久（北薩署）  
 北薩署業務第二課長  
 竹永泰雄（環境省）  
 大隅署業務第二課長  
 白濱正明（宮崎署都城支署）  
 長崎署治山課長  
 藤田康孝（長崎署）  
 熊本南部署治山課長  
 一口竜也（屋久島署）  
 大分西部署治山課長  
 田代美喜男（治山課）  
 大分署治山課長  
 兒玉祐二（北薩署）  
 宮崎署都城支署治山課長  
 山田茂（長崎署）  
 北薩署治山課長  
 植薄和彦（大分署）  
 鹿兒島署治山課長  
 山崎泉（大隅署）  
 大隅署治山課長  
 野口安男（宮崎署都城支署）  
 屋久島署治山課長  
 井勝吉（宮崎署都城支署）  
 長崎署技術専門官  
 井孝次（宮崎北部署）  
 大分署技術専門官  
 井上和也（佐賀署）  
 宮崎北部署技術専門官  
 福岡忠行（宮崎南部署）  
 西都児湯署技術専門官  
 藤本純一（宮崎署）  
 宮崎署都城支署間伐推進企画官

上別府悟（宮崎署都城支署）  
 屋久島森林環境保全センター専門官  
 濱口修次（森林技術総合研修所）  
 屋久島森林環境保全センター庶務主任官  
 樋口真士（福岡署）  
 長崎署総務係長  
 深田孝治（大隅署）  
 熊本署総務係長  
 宮木利浩（熊本署）  
 大分署総務係長  
 志田明子（長崎署）  
 宮崎北部署総務係長  
 川野敬（宮崎署都城支署）  
 宮崎署総務係長  
 竹下清高（宮崎署）  
 宮崎署都城支署総務係長  
 大岩根浩（大隅署）  
 福岡署総務係長  
 井本清水（福岡署）  
 佐賀署総務係長  
 南里和子（佐賀署）  
 熊本署総務係長  
 下村龍也（経理課）  
 西都児湯署総務係長  
 岩下泰弘（西都児湯署）  
 宮崎南部署総務係長  
 平田和之（熊本署）  
 大隅署総務係長  
 宮川貴之（福岡署）  
 佐賀署総務係長  
 副島利博（佐賀署）

大分西部署経営係長

武原龍行（大分署）

宮崎北部署経営係長

後藤彰彦（総務課）

宮崎署経営係長

平山由希子（鹿児島署）

宮崎署都城支署経営係長

片山恵介（宮崎署都城支署）

宮崎南部署経営係長

寺田雄一郎（宮崎南部署）

佐賀署森林育成係長

橋本賢一（佐賀署）

長崎署森林育成係長

竹森千恵（企画調整室）

西都児湯署森林育成係長

東敬介（西都児湯署）

宮崎南部署森林育成係長

森俊之（宮崎南部署）

鹿児島署森林育成係長

瀬戸口英昭（鹿児島署）

屋久島署森林育成係長

駒井裕治（大分署）

熊本南部署販売係長

草野正揮（屋久島署）

宮崎南部署販売係長

沖田寿浩（北薩署）

北薩署販売係長

黒田伸博（熊本南部署）

佐賀署土木係長

日隈俊幸（福岡署）

宮崎署都城支署土木係長

馬場智宏（関東局）

熊本署森林ふれあい係長

市原増雄（熊本署）

西都児湯署森林ふれあい係長

河合さつき（西都児湯署）

宮崎署都城支署森林ふれあい係長

飯星光吉（福岡署）

屋久島署森林ふれあい係長

宮下尚己（大分署）

沖繩署森林ふれあい係長

田中優哉（沖繩署）

福岡署管理係長

井川武史（福岡署）

大分署管理係長

川野幸三（大隅署）

福岡署治山第二係長

浅尾純治（鹿児島署）

大分西部署治山第二係長

古閑義郎（佐賀署）

宮崎北部署治山第二係長

尾山淳（宮崎署）

西都児湯署治山第二係長

三浦健司（宮崎署）

鹿児島署治山第三係長

小屋敷祐二（大分西部署）

大分西部署首席森林官

山下真治（森林総合研究所）

宮崎署都城支署首席森林官

郷原寛美（北薩署）

北薩署首席森林官

塩根勝（大分西部署）

鹿児島署首席森林官

濱田辰広（指導普及課）

佐賀署首席森林官

鞭馬一郎（佐賀署）

長崎署首席森林官

中島龍太（国有林野管理課）

熊本南部署首席森林官

平生健久（熊本南部署）

宮崎署首席森林官

中村勇次郎（大隅署）

大隅署首席森林官

歌野光康（宮崎署）

熊本署森林官（上席）

岩下春記（大分西部署）

大分署森林官（上席）

命苦健治（宮崎北部署）

宮崎北部署森林官（上席）

中川邦男（宮崎北部署）

宮崎署森林官（上席）

吉川慶一（宮崎署）

宮崎署森林官（上席）

平生陽介（宮崎署都城支署）

宮崎署都城支署森林官（上席）

大寺義宏（福岡署）

大隅署森林官（上席）

木村通（宮崎南部署）

福岡署森林官

坂本雄二（国有林野管理課）

武藤良助（佐賀署）

羽野誠一郎（大分西部署）

岩崎正二（鹿児島署）

竹崎桂子（大隅署）

野田祐治（屋久島署）

佐賀署森林官

北里哲治（福岡署）

長崎署森林官

榎本大輔（長崎署）

北島貴裕（屋久島署）

熊本南部署森林官

丸橋勝寿（宮崎北部署）

森津積（宮崎署）

平田謙吉（宮崎署）

大分西部署森林官

高倉邦彦（大分署）

# 長い間ご苦労さまでした

## ◇定員内職員◇17人

3月31日付林野庁長官発令

木村壽（職員厚生課）

有村豊秋（企画調整室）

松岡善一（総務部）

橋口賢一（森林整備部）

3月31日付森林管理局長発令

工藤徳二（森林整備部）

池田勉（総務課）

松本一美（経理課）

寺原敬二（大分西部署）

佐藤実（大分署）

白石和成（西都児湯署）

井島寛良（西都児湯署）

橋本勇次（西都児湯署）

木場保（宮崎署都城支署）

江口止十（北薩署）

## ◇定員外職員◇34人

松木昭（北薩署）

小川喜一（鹿児島署）

甲斐堅一（屋久島署）

宇野清次（福岡署）

石松隆雄（佐賀署）

田中保廣（熊本署）

松延和幸（熊本署）

木下博（熊本南部署）

佐藤正志（大分西部署）

佐藤康徳（大分署）

三浦聖土（大分署）

森谷泉（大分署）

岡田克美（宮崎北部署）

豊岐照夫（西都児湯署）

二見久雄（宮崎署）

黒木廣行（宮崎署）

柿本隆（宮崎署）

西秀夫（宮崎署）

榎木勝則（宮崎署）

上村節夫（宮崎署都城支署）

倉本十次（宮崎署都城支署）

臼井文男（宮崎署都城支署）

泊口康廣（宮崎署都城支署）

黒原徹男（宮崎南部署）

福岡新次（宮崎南部署）

杉本次男（北薩署）

井ノ上實夫（北薩署）

遠矢育雄（北薩署）

野元繁徳（北薩署）

今村好人（北薩署）

福元良男（北薩署）

谷川正一（北薩署）

宮之原正美（北薩署）

鶴窪正則（大隅署）

緒方國昭（大隅署）

松元満義（大隅署）

佐々保徳（屋久島署）



- 高瀬智品(沖繩署)
- 大分署森林官
- 福泉裕介(佐賀署)
- 西都児湯署森林官
- 河野幸夫(大分署)
- 福田錦吾(大隅署)
- 木崎真一郎(大隅署)
- 宮崎署森林官
- 松本慎剛(福岡署)
- 原口隼人(西都児湯署)
- 南崎亜紀子(宮崎署都城支署)
- 宮崎署都城支署森林官
- 吉村浩一(長崎署)
- 川野博之(大隅署)
- 北薩署森林官
- 橋本敏一(宮崎署都城支署)
- 鹿児島署森林官
- 飛矢舞(森林整備課)
- 泊喜代隆(北薩署)
- 大隅署森林官
- 古川洸太郎(指導普及課)
- 山元俊博(西都児湯署)
- 野田誠治(宮崎南部署)
- 宮崎南部署課付
- 井研市(宮崎南部署)
- 企画調整室係員
- 高島唯(林野庁)
- 総務課係員
- 坂口繁(熊本署)
- 経理課係員
- 興栢美喜夫(西都児湯署)
- 山脇寿(関東農政局)
- 指導普及課係員
- 氏橋亮介(林野庁)

- 国有林野管理課係員
- 三吉康治(福岡署)
- 山下誠吾郎(大分西部署)
- 山口清文(宮崎署都城支署)
- 治山課係員
- 木倉浩二(熊本南部署)
- 福岡署係員
- 山崎貴子(長崎署)
- 長崎署係員
- 橋本麻美(大分西部署)
- 熊本南部署係員
- 田代祐子(大分署)
- 笠本佳宏(西都児湯署)
- 大分西部署係員
- 濱本敬士(宮崎南部署)
- 大分署係員
- 藤川涼一(屋久島署)
- 宮崎北部署係員
- 坂本徹也(熊本南部署)
- 西都児湯署係員
- 村上英志(宮崎北部署)
- 宮崎署係員
- 長口棟博(鹿児島署)
- 宮崎署都城支署係員
- 谷端美菜子(林野庁)
- 宮崎南部署係員
- 古田敏也(北薩署)
- 北薩署係員
- 一川由菜(宮崎署)
- 平生竜(関東局)
- 鹿児島署係員
- 草野誠(熊本南部署)
- 林野庁出向
- 森本博之(宮崎署都城支署)
- 森林技術総合研修所出向
- 佐藤剛(沖繩署)
- 関東局出向
- 岩崎隆裕(宮崎署)
- 農林水産省出向
- 高島寛(企画調整室)
- 環境省出向
- 田代清(治山課)
- 環境省出向
- 平野耕一(北薩署)
- 環境省出向
- 遠山賢次(鹿児島署)
- 環境省出向
- 渡瀬博美(大隅署)



昨年、12月1日付で約8年ぶりに森林管理署勤務となり、これまでの自宅からのJR通勤から単身赴任となり自炊生活へと変貌した。幸い、宿舍が職場と隣接している。

「初心」に返っての浦島太郎状態ではあったが、署内の行動力ある活気を感じた。考えれば小生も50歳代となり、職員の年齢構成成順では上位は必至である。

## 頑張れ！熊南

夢多き若者からメタボが気になる実年おじさんといったの間にか時間が経過し、現実を直視する感覚が麻痺していたのである。

日常業務でも、パソコン操作による業務整理が主流であり、今年度においてもガールズ2、

このため職員一人ひとりが目標に向かって積極的に取り組み、活気ある職場づくりへと展開していきたくと思っている。

(熊本南部森林管理次長 寺本勝)

### 住所変更のお知らせ

○宮崎北部署第一日之影森林事務所、第二日之影森林事務所、八戸森林事務所の合同森林事務所新築に伴い住所等が変更になりましたのでお知らせします。

新住所 〒882-0301  
宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折字八戸1946-2  
〔電話番号(FAX同)〕  
第一日之影森林事務所 0982-88-1120  
第二日之影森林事務所 0982-88-1125  
八戸森林事務所 0982-88-1322

○沖繩署租納森林事務所が新築に伴い住所等が変更になりましたのでお知らせします。

新住所 〒907-1542  
沖繩県八重山郡竹富町字西表689  
〔電話番号(FAX同)〕  
0980-85-6201

お悔やみ申し上げます

春野 栄一 様  
局総務課勤務、農林水産技官春野 栄一様は3月8日、ご逝去されました。(享年53歳)

# JICA研修員を受入

## 九州国有林の取組に高い関心

社団法人海外林業コンサルタ  
ンツ協会からの依頼を受けて中  
国から15人の研修生を4日間の  
日程で受け入れました。

沖修司局長へ表敬の挨拶の後、  
野邊忠司総務課課長補佐から管  
内概要の説明を受けました。

一行は、雲仙普賢岳噴火災害  
以降の復旧状況や雲仙災害記念  
館、監物樹木園などの視察を行  
いました。また、管内の国有林  
関係は吉無田水源や阿蘇外輪山、  
くまもと自然休養林（菊池水源）、  
法人の森などを視察しました。  
研修生は、吉無田水源の人工  
林や菊池溪谷の自然林に



雲仙普賢岳災害個所を視察の一行

関心を示していました。

（担当＝総務課）

### 森・林業ふれあいツアー開く

【宮崎北部森林管理署】耳川  
流域森林・林業活性化センター  
と連携して「都市住民を対象に  
した森林・林業ふれあいツアー」  
を行いました。これは、都市部  
の人々に森林・林業の重要性を



暖地の海岸近くに生える常緑  
広葉樹とされているが、九州内  
では普通に見られる。枝がたま  
にとげ状になり、葉は革質で縁  
が波打ち、葉裏は銀白色の星状  
毛を密生し、点々と褐色の鱗片  
があり、この状態は花の顎にも  
見ることが出来る。花は前年の  
秋に咲き、果実（偽果）で越冬  
翌年の5月から6月初夏の苗代  
を作るころ、果実が熟することか  
ら名前が付けられている。  
グミはとげのことをグイとい  
い、グイミがグミに転訛したと

肌で感じて理解してもらうため  
に昨年度から行っているもの。

当日は、日向市漁業協同組合員  
10人が参加。諸塚村の耳川広域  
森林組合諸塚加工センターや民  
有林の間伐モデル林などを見学  
した後、日向市のお倉ヶ浜の国  
有海岸林で、抵抗性マツ60本を  
植えました。松林では「マツ林  
を守る話」を行い、参加者は熱  
心に聞き入っていました。その  
後一行は、諸塚産直住宅を見学  
し、日ごろ触れることの少ない  
森林・林業に対する理解を深め

## 32 ナワシログミ（グミ科）

云われる。転訛する前の言語の  
「グイ」を調べてみると「大和  
（日本）に大陸文化が始まる前  
に大和で話されていた言語」と  
説明されている。

同じ環境に育つツルグミ、海  
岸近くに多いマルバグミも同じ  
ころに花が咲き翌年に実を熟す。  
反対にナツグミ・アキグミ・ト  
ウグミは春に花が咲いて初夏か  
ら秋にかけて実が熟す。実は赤  
く熟し酸味があるが美味しい。  
グミの種類は多く熊本地方でも  
7〜8種は数えられる。樹木園  
の中央東側に高さ1mで傘状に



仕立てである。今年は果実はつ  
いていない。



抵抗性マツを植樹する参加者＝宮崎北部

ていました。



4月1日付けの異動で広報も  
担当することになりました。20  
年程前に暖帯林に掲載されて以  
来の寄稿である。よろしくお願  
いします▼伝統ある広報九州が  
電子媒体としてホームページに  
登場して早1年。紙ベースでな  
いことに一抹の寂しさは残るが  
途切れることなく発行され続け  
ている。これまで投稿された方々  
、広報関係者は勿論のこと、何よ  
りも読者の方々に改めて感謝申  
上げたい▼今回寄稿するにあ  
たり、改めてこれまでの広報を  
見返した。当時の話題が巧妙な  
「活字」で紹介され、躍動感あ  
ふれる当時の様子を思い起こさ  
せる。「写真」も重要。1面の  
写真等の選定作業にもご苦労さ  
れていると推察されるが、プロ  
顔負けの名品揃いである▼情報  
提供の媒体は変われども広報誌  
は多くの人にしっかり支え続け  
られている。広報九州は九州森  
林管理局の扉。これからも沢山  
の方々に扉を開けて頂き「我々  
の魅力」を感じていただきたい  
▼パソコンから、九州森林管理  
局ホームページ↓報道/広報↓  
広報誌↓広報九州。意外とアク  
セスは簡単である。（た）